

## 1 目的

英語を実践的に活用する機会やキャリアプランについて考える契機とするため、都立高校生が英語を活用している職場で業務等を体験する。これを通じて、世界を視野に活躍する意識の向上や英語への学習意欲の向上を図る。

## 2 概要

### ○ 対象

都立高等学校及び都立中等教育学校（後期課程）に在籍する生徒

### ○ 実施内容

- ・1企業・団体につき1日又は2日
- ・事業説明、施設ツアー、仕事体験、グループワーク、座談会など

### ○ 事業の流れ



## 3 実施状況

○募集定員(175人)に、**約1.3倍**の申込  
(応募 47校 219人)

**46校 166人参加**

1年:56人 2年:85人 3年:25人

### ○ 受入先 **23企業・団体**

#### ◆大使館・国際機関

英国大使館【8】、オーストラリアクイーンズランド州政府駐日事務所【3】、カナダ大使館【10】、ブリティッシュ・カウンシル【3】

#### ◆教育・出版

読売新聞東京本社【5】、レイクランド大学ジャパン・キャンパス【6】

#### ◆金融・保険

AIG損害保険(株)【4】、スイス・リー・グループ【6】、野村ホールディングス(株)【10】、BNPパリバ・グループ【10】、バンク・オブ・アメリカ【10】

#### ◆建設・IT

鹿島建設(株)【10】、(株)竹中工務店【10】、日本IBM【8】

#### ◆ホテル・航空

(株)京王プラザホテル【3】、ザ・ペニンシュラ東京【3】、(株)JALスカイ【5】、日本航空(株)【5】、Boeing Japan(株)【8】

#### ◆食品・メーカー・商社

(株)クボタ【10】、サッポロホールディングス【10】、ゼブラ株式会社【10】、丸紅(株)【9】

※ 青字…2025年度新規企業・団体  
※ 【 】…参加人数

## 4 取組内容

### <事前研修 7月13日(日)>

- 講話・ビジネスマナー研修／英語研修
- グループワーク
  - ・受入先に関する情報収集・共有
  - ・グローバルに活躍する企業等の社員に必要なものについて協議



講話・ビジネスマナー研修



英語研修



グローバルに活躍するために必要なことについて協議

### <仕事体験 7月23日(水)～8月20日(水)>

- 事業説明
- 施設ツアー
  - 執務スペース、大使館施設、ホテル施設、空港施設、研究所など
- 仕事体験
  - 海外とのオンライン会議、搭乗カウンター補助、ホテルロビー補助、イベント・授業運営補助、英文記事作成、ペン作りなど
- グループワーク(英語によるディスカッションやプレゼンテーションなど)
  - テーマ:新商品・サービスの企画、海外展開戦略、高校生向け広報戦略など
- 座談会・質疑応答
  - 役員・社員(外国籍社員、国際部門勤務者、海外駐在経験者など)



大使館の概要説明



国際線搭乗カウンターでの仕事体験



オリジナルマーカー作成



海外の大学と  
留学に関するオンライン会議



海外展開戦略について  
プレゼンテーション



多国籍な社員との  
座談会・質疑応答

### <事後報告会 8月22日(金)>

- グループ毎にプレゼンテーション資料作成・英語で発表
  - 「仕事体験から学んだこと」
  - 「グローバルに活躍する際に必要な力」
  - 「参加した企業等の一員としてチャレンジしたいこと」
- 質疑応答
- 受入先から生徒にフィードバック



プレゼンテーション資料作成  
発表準備



英語でプレゼンテーション



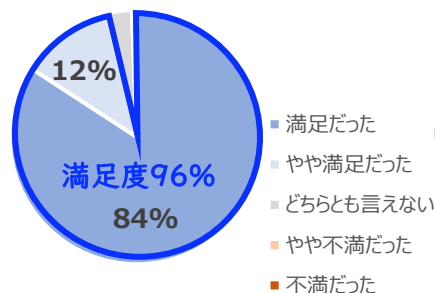
受入先からフィードバック

## 5 成果

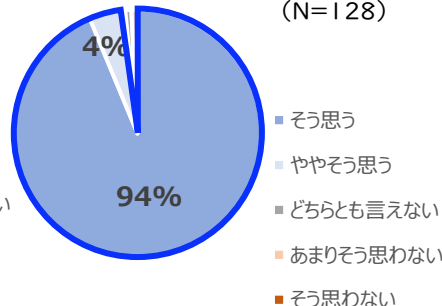
- 生徒の満足度は**96%**と非常に高く、学習意欲の向上、キャリアの意識喚起、ダイバーシティの理解促進等、多様な学びの機会を提供できた。
- 受入企業・団体からの本事業の評価は高く、来年度継続の前向きな意向あり。

### ◆参加生徒のアンケート等の結果

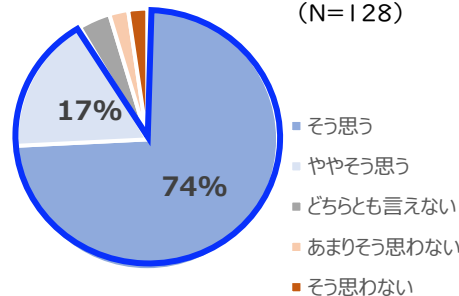
◇満足度 (N=158)



◇外国語をもっと話せるようになりたい (N=128)



◇将来、英語を使って仕事をしてみたい (N=128)



◇グローバルに活躍するために必要と考えること

マインドセット

- ・ビジョン、目標
- ・失敗を恐れずにチャレンジ
- ・好奇心、熱意

スキル

- ・コミュニケーション能力 (英語力、伝える力、聴く力)
- ・他者と協働する力

異文化理解

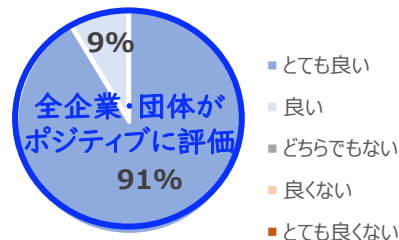
- ・多様性を尊重し、受容
- ・新しい環境に適応

#### 参加生徒の声

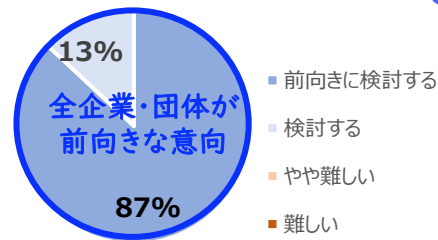
- ・ 実際に建設業界で働く方々とお話し、設計、意匠、構造、環境等は互いに密接に結びついており、どの分野においても普遍的な答えはないということに気付かされた。また、英語の学習等は将来のキャリアにとって大変重要であることを再認識でき、今後への大きなモチベーションとなった。
- ・ 入社後に留学した社員の方もいて、本当に学び続ける姿勢が自分を成長させてくれるのだと思った。私もこれから色々な分野について知識を深めることを頑張りたい。
- ・ マーナー作成や海外のお客様をターゲットにした疑似商品開発体験を通して、ものをつくる楽しさや、相手の文化や生活を想像し、配慮することの必要性や商品開発の難しさを感じることができ、将来英語を使い、海外の方々と関わりながら仕事をしていくためのとても貴重な経験になった。
- ・ 国籍や専攻など、様々なバックグラウンドの社員と話したことで、ダイバーシティを体感でき、将来、訪問企業に就職したいと思った。

### ◆受入企業・団体のアンケート結果 (N=23)

◇「英語でジョブチャレンジ」の評価



◇来年度の受入



#### 受入企業・団体の声

- ・ 生徒が国際的な視野を広げ、将来のキャリア形成に役立てるきっかけとなったのであれば、大変嬉しく思います。
- ・ 高校生とのやり取りから、社員自身も当社で働く意義やキャリアに対する考えなどを再考する貴重な機会となりました。
- ・ 若いパワーに触れることで、私たちも大いに元気をいただきました。

#### 取組の紹介

各企業・団体での仕事体験を詳しく紹介 <https://www.tec.metro.tokyo.lg.jp/jobchallenge/>

